

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 繁殖雌牛増頭支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 銘柄推進係 電話番号：058-272-1111(内2878)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,500 千円 (前年度予算額：5,000 千円)

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,000	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500
要求額	2,500	0	0	0	0	0	0	0	2,500
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

飼料価格高騰や農家の高齢化に伴い廃業が進行し、県内繁殖農家戸数は20年前の2分の1にまで減少している。このため県内の肥育素牛の自給率は5割しかなく、大半を県外の産地（北海道、東北、九州など）からの導入に頼っている。しかし、全国的な子牛価格の高騰に伴い、繁殖雌牛導入が困難となっており飛騨牛生産農家の経営を圧迫している。

(2) 事業内容

国や県、市町村が実施する事業等で増頭を目的に牛舎を整備した農家を対象に、増頭分に係る繁殖雌牛の導入経費に対して一部を助成する。

これにより、生産基盤を強化し、肥育素牛の安定供給を図り、飛騨牛生産農家の経営安定を目指すとともに、“岐阜県生まれ岐阜県育ちの飛騨牛”増産を目指す。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10 定額補助

効率的な繁殖雌牛導入を推進し、本県の肉用牛生産基盤の強化を図るため、県が定額を補助する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,500	100千円/頭 ただし受精卵移植牛として交雑牛を利用する場合は35千円/頭
合計	2,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

令和2年度策定の「ぎふ農業・農村基本計画」では、安定的に子牛の生産供給する体制の確保が必要であり、意欲ある農家に対して繁殖雌牛の導入を支援することとしている。

(2) 国・他県の状況

「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針（令和2年3月策定）」において肉用牛の生産基盤強化及び、国内牛肉需要、輸出拡大のため「繁殖雌牛増頭」を目指すこととしている。

(3) 後年度の財政負担

令和3年度から令和7年度までの5か年。

(4) 事業主体及びその妥当性

市町村、JA

肉用牛繁殖雌牛の増頭は、市町村・JAと連携して進める必要がある。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	繁殖雌牛増頭支援事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、地域JA （理由）肉用牛繁殖雌牛の増頭は、市町村・JAと連携して進める必要がある。
補助事業の概要	（目的）県内肉用牛繁殖雌牛の増頭 （内容）牛舎設置事業後の繁殖雌牛増頭に対する支援
補助率・補助単価等	定額 （内容）100千円/頭×繁殖雌牛増頭数。ただし、交雑牛を受卵牛として利用する場合は35千円/頭 （理由）雌牛導入にかかる資金借り入れの際の金利相当分を補助する。
補助効果	飛騨牛素牛供給量の増加と価格安定化
終期の設定	終期令和7年度 （理由）令和2年度策定の「ぎふ農業・農村基本計画」の目標年度である為。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 飛騨牛生産農家の経営安定を目指すとともに、“岐阜県生まれ岐阜県育ちの飛騨牛”増産を目指す。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2末)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
① 繁殖雌牛飼養頭数	7,860	7,860	8,600	9,000	10,000	79%
② 飛騨牛認定頭数	9,727	9,727	10,100	10,200	10,500	93%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	14,580	24,720	6,700

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 繁殖雌牛増頭支援事業において67頭の繁殖雌牛の増頭（事業実施戸数23戸）を支援した。
	指標① 目標：8,300 実績：7,860 達成率：95 % 指標② 目標：10,000 実績：9,727 達成率：97 %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	飼料価格の高止まりや、高齢化による農家の廃業等により、子牛の生産頭数が減少し、飛騨牛の生産基盤を支える繁殖経営の弱体化が懸念されている状況にあり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 1	本事業により、農家の繁殖雌牛増頭意欲が増加し、繁殖牛舎の整備を計画する農家が増えている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	農林事務所、市町村、農協が連携し、繁殖雌牛の増頭に係る取組みを行う体制が構築されている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 農家の高齢化と新規就農者の不足により農家戸数が減少している。 飼料価格の高騰や子牛不足により繁殖雌牛の購入が困難な状況にある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本事業を継続することで生産基盤の強化を図るとともに、引き続き“岐阜県生まれ岐阜県育ちの飛騨牛”増産を目指す。
--